

# 基幹システムアカデミー



## 分科会活動の概要

京都市は総額117億円を投じた基幹系システムの刷新を一部を除き中断した。国が自治体システムの標準化を決め、再度の改変が必要になるとみたらからだ。最悪の場合は投資額のうち100億円近くが無駄に終わる可能性がある。2016年の延期後にベンダーを切り替えたが、2019年に再度の延期を決定。開発遅延の背景には進捗管理の甘さや協力体制の不備、想定不足があった。（日経コンピュータ・2021.1.21号『動かないコンピュータ』より）

このような事例は、地方自治体、政府官公庁に限らず、民間企業でも十分に考えられる要素を持っている。このアカデミーでは、ユーザー企業の基幹システムの現状や再構築に取り掛かっているところの事例と課題を収集し、情報交換を行う。



**参加対象** 「基幹システムの構築」に携わっておられる管理者、P M、S Eの方.

**参加費用** 44,000円 (期の途中からのご参加は期間按分となります)

**開催日程** 隔月 全6回 偶数月の第4木曜日 (継続中)

(1)前半 (16:00~17:00)

主催企業から基幹システムの事例と課題等につきご発表いただきます。

(2)後半 (17:00~18:30)

講師を交えての意見交換

**取り上げるテーマ** 全体観 (身の丈に合った計画、開発手法の採用ウォーターフォール、パッケージ選定と注意点)、現行保証の陥穽 RFP(Request For Proposal)の記載レベル (曖昧な記載)、発注者しかできない作業の存在、推進体制と責任者の権限、作業をした結果を何で保証するのか (その計画と条件を明確に)、フェーズ別契約の採用 (発注者と受注者の間のトラブルの回避)、リスク管理 (スケジュール遅れ、不足の費用への備え)

**事務局** ABC協会 常務理事 三木 徹